

養護教諭中堅教諭等資質向上研修

「研修概要説明」

県立総合教育センター
教育経営研修班 大城 めぐみ

【目的】

養護教諭中堅教諭等資質向上研修は、本県公立学校における健康教育や養護全般に関し相当の経験を有し、その教育活動その他の学校運営の円滑かつ効果的な実施において中核的な役割を果たすことが期待される中堅養護教諭の資質の向上を図る。

【対象】

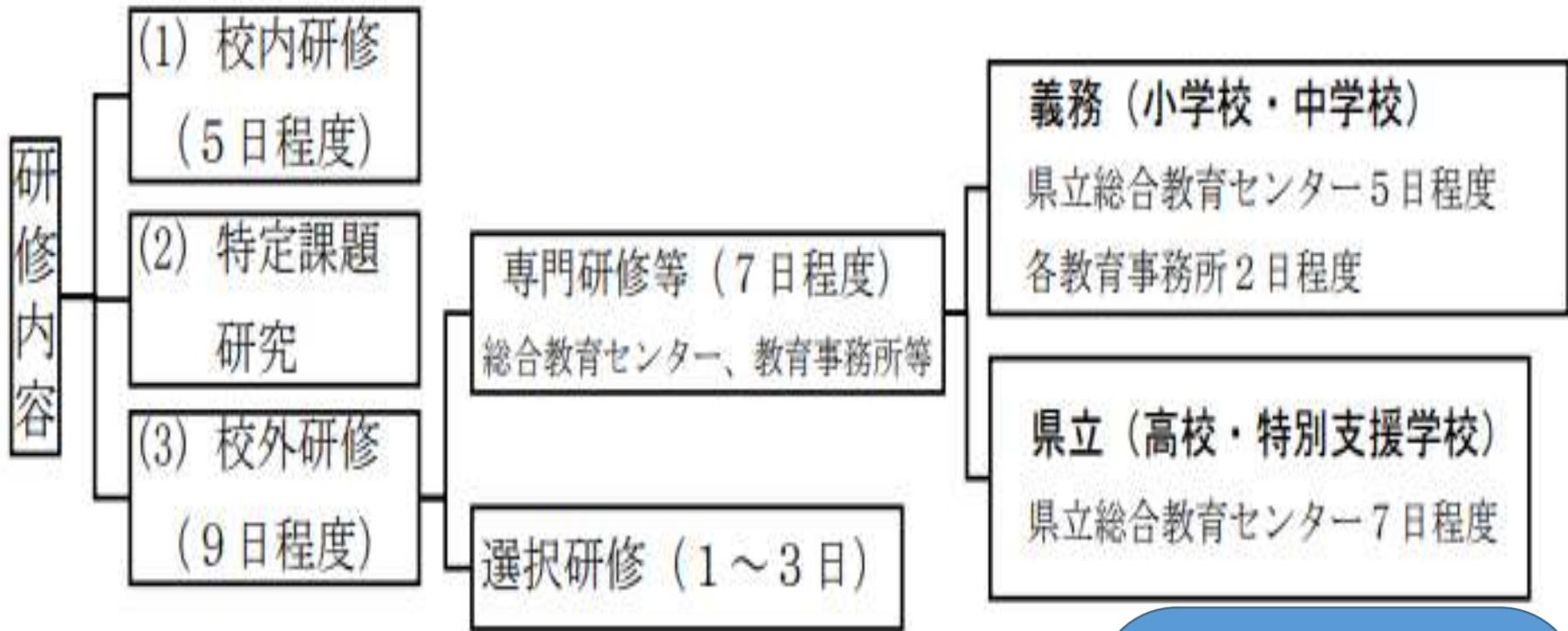
公立小学校・中学校及び県立学校に在職する養護教諭のうち以下に該当する者

- ①在職年数10年目の者
- ②在職年数11年目以上の者のうち、本研修の一部又は全部を受講していない者

※実施要綱の改正により除算がなくなりました。

【研修内容】

実施要領 p1~4



養護教諭中堅研に関する連絡等は、
発出文書、事務連絡及び「R6養護
中堅研Teams」をご確認下さい。

※【第2回】研修のテストログインは
4月24日または25日(16:00~
16:30)です。



・小・中学校は、教育事務
所での研修が2日
間あります。

・Teamsが活用できる
ように準備・練習をして
おいてください。

校内研修について

実施要領 p1~3

①p1~3を参考に**様式2の上段、校内研修計画**を作成し、研修を実施する。1日の校内研修時間に定めはありません。

→5日間のうち1日は「**特定課題研究報告会**」を実施

・パワーポイントにまとめ10~15分位で報告する。

・学校長または教頭のどちらかには参加してもらい、コメントをもらう。

②校内研修計画を立てるにあたって

・得意分野をさらに高める

・苦手分野にチャレンジする。

・「**組織的な取組**」とする

【育成指標の学校保健推進力】

→中心的な役割を果たす「**発展ステージ**」

(様式2)
令和6年度 養護教諭中堅教諭等資質向上研修計画書 (校内研修・選択研修)

学校名	学校長名	受講者名
	公印	

【校内研修計画】

期	月	日	研修内容	形式 講話 演習 授業 発表 その他	領域・研修項目								
					I 保健管理				II 保健教育	III 特定課題研究	(7) その他		
					1	2	3	4					
				(1)健康診断 (2)救急処置 (3)感染症対策 (4)環境衛生 (5)保健和音 (6)保健指導									
1													
2													
3													
4													
5					特定課題研究発表会	発表						(1) (2)	

校内研修報告書の書き方について

様式4②

領域、研修項目、形式は、計画書及び2～3頁の表-1にあるとおり記載。

研修内容は、計画のとおり記載。

※学校保健の課題解決や養護教諭自らの強みや課題を踏まえた資質向上の視点から簡潔に記載。

【校内研修計画と内容や日時を変更した場合】
実施要領をしっかりと確認して実施すること！

(様式3②)
令和5年度 養護教諭中堅教諭等資質向上研修 校内研修報告書

学校名 センター小学校 養護教諭氏名 大城めぐみ

領域	【1保健管理】		
研修項目	「(3) 救急体制の充実 ①救急処置の医学的知識と技術」		
形式	演習	対応者*	指導者：大城(養護)、金城(安全) 参加者：全職員
日時	令和5年6月9日 月曜日 15時30分～16時30分	研修場所	本校体育館

1 研修内容
(学校保健の課題解決や養護教諭自らの強みや課題を踏まえた資質向上の視点から簡潔に記載)
(1) 校内研修における心肺蘇生法及びAED講習会の実施
(中堅養護教諭が安全主任と協力して、企画・運営・指導を行う。)
①目的：今年度の本校の救急体制、心肺蘇生法及びAEDの使い方について、全職員で共通理解するとともに、技術を習得する。
役割分担：ア 養護 当日の指導
イ 安全主任 開催案内、講習人形を消防から借用、実施後アンケート (Foams)
②実施前：ア 安全主任と事前打ち合わせ (5月2日)
イ 指導内容の計画 (本校の昨年度のケガや、ヒヤリハット事例を踏まえた内容)
③実施：クイズと動画を用いて指導・演習を行った。
④実施後：アンケートを安全主任と確認した。職員からは、本校の事例や、校舎、遊具を踏まえた演習だったため、技術の習得だけではなく、児童への安全指導にも生かせる内容だったとの感想が見られた。

2 感想、実践したこと・今後の取組
【感想】
例年より準備に時間がかかったが、「本校の実態を研修に取り入れる」という工夫は、救急法講習のみならず、児童の健康教育に繋がると感じた。
【実践したこと・今後の取組】
これまでも救急法講習においては、本校の救急体制を全職員で確認する貴重な場であり、研修講師を務めてきた。しかし、昨年度までは一般的な実技講習が主で、本校にはなっていないため、中堅研の校内研をいい機会と捉え、本校に特化した内容に。昨年度の保健室来室の集計や、児童のケガで気になった場所、救急体制で不安に思ったことクイズ形式にまとめて講習を行うといった工夫を行った。
参加した職員からは、「本校の実態を踏まえた内容で危機感を持って講習できた」「児童への指導の感想があったため、児童会児童でケガマップを制作し、その対処資料を作成し、ま

対応者は、研修に参加した者、一緒に授業や協議等を行った者を記載。

【感想】は、実践してみて思ったこと、感じたことを記入する。
【実践したこと・今後の取組】は、今回の実践における工夫点、良かった点、課題点、今後の取組に生かす視点で記載。

特定課題研究について

実施要領 p4
様式5と様式6

特定課題研究は、児童生徒の心身の健康づくり・学校保健の課題解決を目指した「**組織的な取組**」に関する内容とする。

【課題の範囲】

養護教諭の視点で疑問や困難さを感じているもの

- これまでの経験から解決が困難疑・問を持った内容
- 地域性からくる課題や、県・全国共通の健康課題
- 学校保健に関する法律、答申などを受けて取り組む課題
- 文献を元に実践効果を検証したい課題 など



【テーマ設定時の考慮点】

- 実行可能であるか
- 小さくても前進していくものか
- 自分の学校のオリジナリティはあるか
- みんなにも役立てそうか
- 本当にやりたい研究か

第3回 5月23日(木)の研修にて、
テーマ検討会を行います。
☆5月15日(水)までにTeamsに
様式5を提出してください。

【様式6(課題研究報告書)記載の留意点】

適切な文言を使用すること。

×保健学習、×テーマを保健教育としているのに、実践内容が保健指導となっている。

特定課題研究と校内研修の関連付け

【特定課題研究】児童生徒の心身の健康づくり・学業不振の解決を目指した「**組織的な取組**」

(例
→

保健部会で企画提案・実施・評価などの保健組織活動

得意な方 → 保健部会等で他の教職員に指導・助言をしながら実施

苦手な方 → 保健主事等に助言をいただきながら実践

率が高い

方を習得させる。また、歯み

→ 学級担任とTTで行う。

TT実施の打ち合わせ、授業実践など)

の実施 ※毎月1回、1週間

成、保健部会で企画提案・実施・評価)

授業実践などの保健教育

得意な方 → 他の教職員に指導・助言をしながら実施

苦手な方 → TIに助言をいただきながら実践

【特定課題研究】・様式6

(実践結果は、児童生徒の健康課題の改善や学校保健の課題改善ができたかを記載)

【校内研修】・様式4②

(実践者としての感想、実践したこと・今後の取組を記載)

得意↑、苦手↓、育成指標↑

校外研修について

実施要領 p7

回	日時等	対象	場所等	領域
第1回	4月～5月	小中	各教育事務所等	基礎
	5月7日(火) 10～11時	県立	教育センター	基礎
第2回	5月7日(火) (Webライブ) 11時30分～16時50分	小中 県立	各学校 センターIT棟	基礎 課題研究
第3回	5月23日(木) (Webライブ) 8時45分～16時50分	全員	各学校	基礎・専門 課題研究
第4回	5～10月	小中	各教育事務所	基礎
	7月2日(火) 午後 (Webライブ)	県立	各学校	基礎・専門
第5回	7月29日(月) 終日	全員	おきなわクリニカル シミュレーションセンター	基礎・専門
第6回	7月30日(火) 終日	全員	教育センター	基礎・専門
第7回	7月31日(水) 午前	全員	教育センター	専門 課題研究
第8～10回 選択研修	8月1日(木)～30日(金) のうち2日程度(1～3日)	全員	自身の選択による	A 社会体験 B 専門等に関連 C NITS

校外研修記録簿の 書き方について

特定課題研究、校内研修
及び校外研修の関連付け

(様式3③)
令和5年度 養護教諭中堅教諭等資質向上研修 校外研修報告書

学校名		養護教諭氏名			
講義名	「 _____ 」				
講師名	「 _____ 」				
日時	令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 曜日	研修場所			
	時 _____ 分～ 時 _____ 分				
感想、実践したこと・今後の取組					
【感想】					
【実践したこと・今後の取組】					

学校名		養護教諭氏名			
講義名	「 _____ 」				
講師名	「 _____ 」				
日時	令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日 _____ 曜日	研修場所			
	時 _____ 分～ 時 _____ 分				
感想、実践したこと・今後の取組					
【感想】					
【実践したこと・今後の取組】					

備考・2講義を1枚にまとめること。
・オンラインまたはオンデマンド研修等の場合、【研修場所】の欄には、実際に研修を行った場所及び研修方法（オンライン研修、オンデマンド研修等）を記載すること。

※校外研修で学んだ内容が、特定課題研究や校内研修に活かせる内容である場合は、実践した内容等を、校外研修報告書の【実践したこと・今後の取組】の欄に記載しても構いません。

選択研修について(R6新設)

1 目的

個々の能力・適性等に応じ、自ら課題とする内容等を選択研修することにより資質能力の向上を図る。

2 期間 令和6年8月1日(木)～30日(金)のうち2日程度(1～3日)

※ただしBとCは、学校長の承諾が得られれば8月以前も可。

3 内容

以下のA～Cから選択し、計画を立て、**学校長の承諾**を得て実施。計画は、**様式2下段**に記載し提出する。**研修内容は、養護教諭としての実践的指導力の向上に役立つ内容**であること。

※BとCは併せて受講できるものとする。

(例) センター短期研修1日+NITSの4コンテンツ

A 社会体験研修

B 専門・基礎及び特定課題研究に関連した研修

(県立総合教育センター夏期短期研修、大学講義、県や市町村等の行政機関が実施する研修など)

C NITSのオンデマンド研修

4 研修場所、方法、手順及び留意事項 ※選択研修実施要項参照

5 研修報告書 選択研修報告書(様式3ABC)のいずれかを提出

提出書類について

実施要領 p5

※書類は公文書として提出してください。

※小中学校・県立学校で提出先や部数が違うためご注意ください。学校保管用も1部作成し、学校で保管してください。

※校内・校外研修報告書には内容確認書(様式4①)を付すことになっています。御自身で確認し、チェック欄を記載してから、管理職にも確認してもらってください。様式3①には捺印が必要ですが、報告書には必要ありません。

(様式4①) 内容確認書

令和6年度 養護教諭中堅教諭等資質向上研修

(校内・校外) 研修報告書の内容確認書

学校名 _____
 校長名 _____ 印
 教頭名 _____ 印
 受講者名 _____ 印

みだしのことについて、下記のとおり確認しましたので提出いたします。

チェック欄			確認事項(様式3②及び③に関する事)
校長	教頭	養護教諭	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1 所定の欄において、【学校名】【受講者名】【領域】【研修項目】【対応者】【講義名】【講師名】【日時】及び【研修場所】等、記載に誤りはないか。 ・ オンデマンド研修及び欠席による代替研修等を行った場合、実際に研修を行った日時が記載されているか。 (※研修日時は勤務日及び勤務時間内とする。) ・ webライブまたはオンデマンド研修等の場合、【研修場所】の欄には、実際に研修を行った場所及び研修方法(webライブ、オンデマンド研修等)が記載されているか。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2 【研修内容】の欄は、要点や重要事項を中心に、簡潔に記載しているか。また、誤字脱字はないか。 ※校内研修のみ
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3 【感想、実践したこと・今後の取組】の欄は、 <u>具体的かつ丁寧に</u> 記載されているか。また、誤字脱字はないか。
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4 【講義名】【研修内容】【感想、実践したこと・今後の取組】の各欄の <u>内容が一致</u> しているか。(※異なる講義の研修内容や所感等が記載されていないか。)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5 報告書の様式及び枚数は適切か。 ・ 実施要項等を確認の上、枚数等を確認したか。 ※県立総合教育センターにおける校外研修については2講座につき1枚、教育事務所開催の研修の提出様式及び枚数等については各教育事務所の指示に従う。(特段の指示がない場合は養4③を使用する)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6 報告書は、研修月日順に綴られているか。

様式等のダウンロードについて

<http://www.edu-c.open.ed.jp/>

① 「IT教育班」をクリック

② 「市町村立学校支援」をクリック

③ 「Open メールアドレス」を入力

④ 「パスワード」を入力

⑤ 「アカウント名及びパスワード確認申請書」に必要

⑥ 「サインイン」をクリック

⑦ 「Teams」をクリック

⑧ 「チーム」をクリック

⑨ 「R6 養護中堅研のクラス」をクリック

⑩ 「参加」をクリック

⑪ 「今すぐ参加」をクリック

【Open メールアドレス、パスワードが入力できない場合】
実施要項に記載している URL または QR コードを読み込み「このブラウザで続ける」をクリックすると⑩の画面が表示されます。

評価について

(2) 校長は、あらかじめ評価項目や評価事項等について、研修教員に対し十分な説明を行うとともに、**研修教員自身に自己評価を行わせ、それを参考として評価を行う。**

(4) 評価の実施時期は、**4～5月（研修前）と2月（研修後）**とし、**年2回**を行う。

(5) 県教育庁保健体育課（義務においては教育委員会）への**提出**は、研修前と研修後の**年2回**とする（「6 提出書類」を参照）。

（様式1）養護教諭中堅教諭等資質向上研修に係る評価表（研修前・研修後）

学校名 _____ 学校長名 _____ 会田
 <受講者名 _____>

【評価】・詳細については、実施要領の「7 評価について」を参照。
 各評価項目の評価については、その評価結果を具体的な研修内容・方法に活用することを想定して、下記の四段階（A～D）で行う。
 （A：十分満たしている B：満たしている C：やや努力を要する D：努力を要する）該当する欄に○をつける

項目	評価基準	時期	A	B	C	D
1 保健管理 1 保健指導	児童生徒の心身の健康管理を行い、ロープレやサークルの役割を	研修				
	職員間や健康診断（保健調査）児童生徒の障害に関する情報を	研修				
	日常的な救急処置を的確に実施し、ける事件事故、災害等に備えた	研修				
	必要に応じて地域の医療機関等使の手続きを行っている。	研修				
	学校薬剤師と連携し、教職員に	研修				
	支援への協力と助言を行っている	研修				
	について理解を深め、学校薬剤	研修				
	支援の必要のある児童生徒の	研修				
	に、正しい知識を身に付け、	研修				
	学校内（学校医等を含む）の関	研修				
の関係機関等と連携を図った、	研修					
学校内における事例検討会を	研修					
健康課題解決に向けて指導的	研修					
指導等々の児童生徒の障害及	研修					
を深めるとともに、学校内外	研修					
に努めている。	研修					
いじめや虐待等の早期発見に	研修					
関与している。	研修					
保健情報の収集に努めるとも	研修					
動を通じて、学校保健活動に	研修					
積極的な参加を促している。	研修					
児童生徒の健康課題の解決に	研修					
力を踏まえて保健室運営計画を	研修					
策定するとともに、実施、評	研修					
価結果が分かるように努めて	研修					
いる。	研修					
保健室が学校保健活動のセン	研修					
ターであるように努めている。	研修					
保健室の環境整備に努めている。	研修					

項目	評価基準	時期	A	B	C	D
2 保健教育 「人権尊重・児童生徒の権利」	職員の保健部（保育）組織が構築しているとともに、指導的	研修				
	役割を果たしている。	研修				
	学校保健委員会（地域学校保健委員会）等の組織活動の企	研修				
	画・運営に参画し、学校医等、保護者及び保健福祉機関等の	研修				
	関係者の参加や協力を得て、地域社会と連携して効果的に活	研修				
	動している。	研修				
	児童生徒保健委員会において、児童生徒が主体的に活動でき	研修				
	るようにきめ細やかな指導を行っている。	研修				
	学校保健委員会の会議の結果が、全校児童生徒へフィードバ	研修				
	ックできるような事後の活動を行っている。	研修				
教職員へ健康に関する校内研修を実施できるように働きかけ	研修					
るなど、教職員相互の共通理解を図り、学校保健活動が組織	研修					
的に取り組めるように努めている。	研修					
関連教科（体育科、保健体育科、生活科、理科、家庭科、	研修					
技術・家庭科、道徳科等）、総合的な学習の時間、総合的な探	研修					
求の時間、特別活動における保健教育の実施や資料提供など、	研修					
学級担任・保健体育科教諭等と連携して行っている。	研修					
職務上必要な研修を積極的に受けるなど、自己研鑽に努めて	研修					
いる。	研修					
地方公務員法や教育公務員特例法等の目的や意義を理解し、	研修					
教育公務員として守秘義務や行動規範等を身に付けている。	研修					
勤務時間の実態や地域の実態を調べ、自らの使命を再検討し、	研修					
教員としての在り方を明確化できる。	研修					
健康に関する個人情報管理を適切に行っている。	研修					

研修前						
校長所見						
研修後						

欠席届、延期・中断届について

●欠席の際は、所属長より、研修実施機関（教育事務所または県立総合教育センター）へ連絡を入れ、後日、速やかに各関係機関に文書を提出すること。

●研修を延期・中断する場合には、速やかに各関係機関に文書を提出すること。

留意・注意事項①

- 時間に余裕を持って行動する
- 研修では、必ず名札を着用する
- スーツ又はかりゆしウェアなど、華美にならない正装とする
- 旅行命令簿の記入を忘れず行う
- 管理者には一言かけてから参加する
- 安全運転を心がける 「飲んだら乗るな」
- 駐車場の利用について
- 教育センター前の道路は徐行運転を!!

～学校現場においても、中堅に位置し、
保健室を通して学校課題・学校保健課題が
はっきりと見えてきている先生方へ～

本研修により、これまでの実践を振り返り、研修によって
得られる専門的な知識や、協議等によって得られる視野の
広がりを、職務に生かしてください。



沖縄県の子供たちの
健やかな心と体を育むために！